

令和3年度に実施した 主な事業

新型コロナウイルス感染症対策関連	
臨時特別給付金事業	3億9,627万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業	589万円
新型コロナウイルスワクチン接種協力支援金事業	200万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億5,842万円
緊急経済対策費	3億48万円
学校保健特別対策事業	403万円
総務費	
公共施設無線ネットワーク構築事業	2,420万円
鹿島庁舎解体工事実施設計等	647万円
個人番号カード利用環境整備事業	261万円
民生費	
福祉医療費支給事業	1億2,467万円
児童手当等支給事業	2億3,710万円
保育園運営事業	3億8,436万円
とりや放課後児童クラブ移転改修事業	7,201万円
衛生費	
保健衛生事業	1億4,032万円
環境衛生事業費	2億8,329万円
農林水産費	
県営土地改良事業費	5,178万円
緊急浚渫推進事業	1,411万円
商工費	
企業誘致事業費	2,159万円
土木費	
道路新設改良事業	2億7,500万円
地区防災マップ作成事業	105万円
町営住宅建設費	883万円
教育費	
図書館統合整備事業	8,143万円
鹿西体育館駐車場整備事業	3,409万円
上下水道事業費	
老朽管更新事業	1億4,520万円
管路施設・処理場設備等更新事業	2,405万円



令和3年度 一般会計

町民1人あたりに換算すると？

- ▶支出額 63万円
(一般会計の支出総額 107億9,119万円÷人口)
- ▶貯金額 40万円
(一般会計基金 68億7,217万円÷人口)
- ▶借金額 69万円
(一般会計町債 118億8,317万円÷人口)



※ R4.3.31 時点の住民基本台帳の登録人口 17,222 人で計算

特別会計・事業会計 特定の収入と支出で経理を行う会計

特別会計名	歳入	歳出
後期高齢者医療	2億5,839万円	2億5,798万円
介護保険	23億6,901万円	23億667万円
国民健康保険	18億7,107万円	18億3,964万円
分譲宅地造成事業	1,803万円	1,799万円
ケーブルテレビ事業	3億9,160万円	3億8,808万円
■ 水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	4億5,780万円	4億6,730万円
資本的収支	1億5,208万円	3億1,200万円
■ 下水道事業会計	歳入	歳出
収益的収支	11億4,540万円	11億3,727万円
資本的収支	9億738万円	12億9,824万円

基金・地方債

町の貯金と借金

基金	令和3年度末残高
一般会計	68億7,217万円
(財政調整基金)	53億6,630万円
(減債基金)	1,069万円
(その他特定目的基金)	14億9,518万円
介護保険特別会計	2億2,656万円
国民健康保険特別会計	5億1,234万円
基金合計(貯金)	76億1,107万円
■ 地方債	令和3年度末残高
一般会計	118億8,317万円
水道事業会計	30億8,937万円
下水道事業会計	89億3,053万円
地方債合計(借金)	239億307万円

財政用語解説

- 歳入
入ってきたお金
- 歳出
使ったお金
- 地方交付税
町の財政状況に応じて国から交付されるお金
- 繰入金
基金を取り崩して収入するお金
- 町債
町が借り入れるお金

町税の内訳

町税種別	歳入
町民税	7億5,865万円
固定資産税	8億5,448万円
軽自動車税	5,675万円
町たばこ税	8,461万円
合計	17億5,449万円



決算報告

決算は皆さまから納めていただいた税金や、国・県からの補助金がいくら入ってきて、どのように使ったかをまとめた「町の家計簿」です。令和3年度の決算をお知らせします。

固総務課(総務庁舎) ☎74-2802

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国の補助金等を活用し、コロナ禍の影響を受ける地域経済への消費喚起策として、プレミアム付商品券の販売を行ったほか、中小企業者に対し固定費等の助成を行うなど、事業継続に向けた各種支援事業を実施しました。そのほか家計への支援策として、子育て世帯や住民税非課税世帯等に対する臨時給付金事業を実施するとともに、感染・重症化予防のためワクチン接種事業を行うことで、経済対策と感染拡大防止の両面から事業を展開しました。

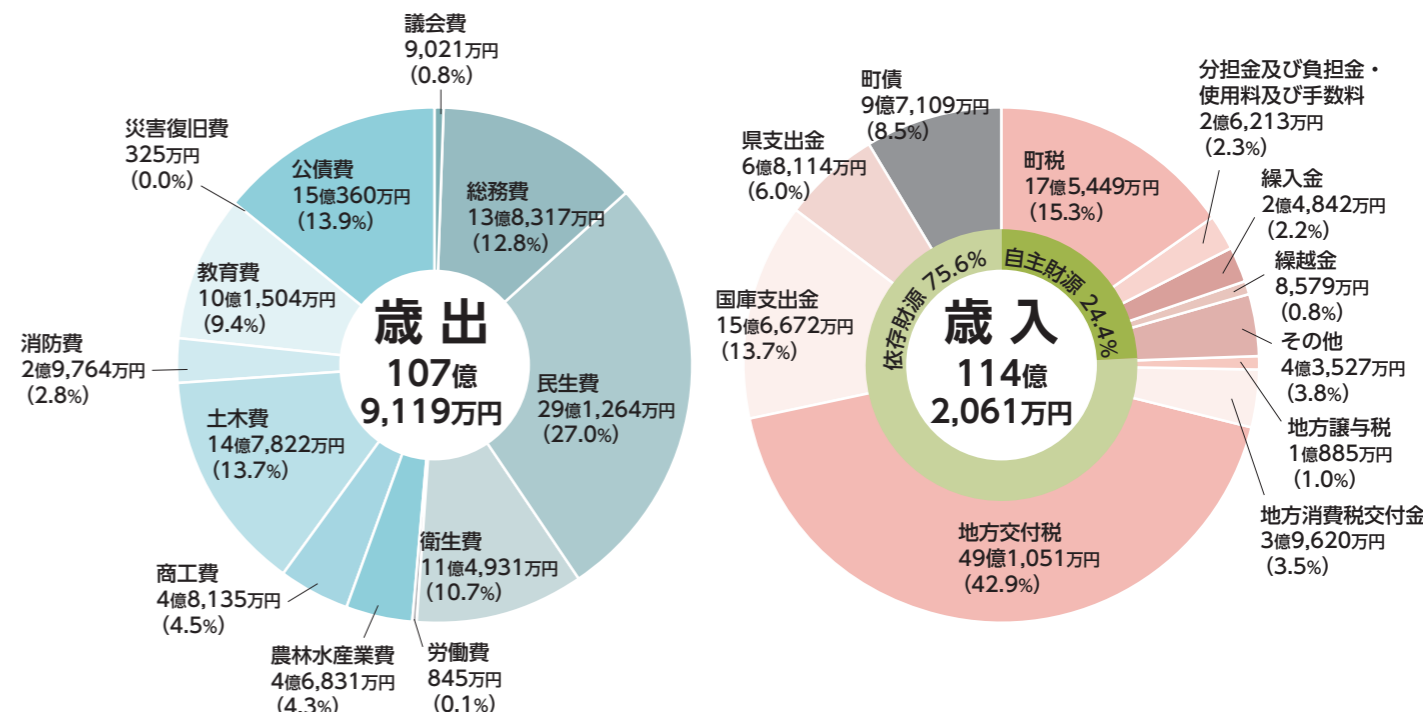
普通建設事業については、令和2年度に着手した図書館統合整備事業が完了し、令和3年12月にリニューアルオープンしたほか、とりや放課後児童クラブの移転改修工事の完了により、令和4年3月に移転先施設での供用が開始されました。また、基盤整備事業として、道路改良工事やため池・ほ場整備事業、水道管の耐震化事業を継続して行いました。

歳入面では、人口減少に伴う町税や地方交付税の減少、歳出面においては、社会保障経費や公共施設の維持管理・更新に係る経費の増加、また新型コロナウイルス感染症により財政需要の先行きが見通せない中、今後も厳しい行政運営が続くことが予想されます。当町においては、国県の補助金や財政措置のある町債等、有利な財源を活用しつつ、事務事業の見直しやデジタル化を通じた事務効率化等により、行政コストの抑制を図ることで、引き続き財政基盤の安定化及び健全な財政運営に取り組んでいきたいと思っております。今後とも町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一般会計

福祉や道路整備など町の行政運営の基本的な経費を計上した会計

令和3年度の一般会計の歳入は114億2,061万円、歳出は107億9,119万円でした。差引残高は6億2,942万円となりますが、そのうち4,565万円は翌年度へ繰り越すべき財源となりますので、5億8,377万円が実質収支となります。



財政健全化判断比率

5つの指標から財政状況を判断

財政状況を表す5つの指標

5つの指標すべてにおいて、国の定める基準を超える数値はなく、財政状況は健全な状態にあると言えます。

比率名	健全化判断比率		早期健全化基準
	令和2年度	令和3年度	
実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	14.09%
連結実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	19.09%
実質公債費比率	11.3%	11.3%	25.00%
将来負担比率	39.7%	13.8%	350.00%
資金不足比率	不足なし	不足なし	-

- ▶実質赤字比率
一般会計に赤字がどのくらいあるのかを表す指標
- ▶連結実質赤字比率
すべての会計で赤字がどのくらいあるのかを表す指標
- ▶実質公債費比率
すべての会計で借金返済にあてる経費がどのくらいあるのかを、3年間の平均値で表す指標
- ▶将来負担比率
すべての会計で将来負担が見込まれる経費がどのくらいあるのかを表す指標
- ▶資金不足比率
すべての公営企業会計で資金不足がどのくらいあるのかを表す指標